

あいな

No.140
2023.04.03

生活クラブ京都
エル・コープ機関紙
発行責任：理事会
編集責任：広報委員会

知ろう！消費材！

リレー生産者交流会

始まりますよー!!

そんな私たちの取り組みのパートナーとい
べき生産者。最近はコロナ禍の影響でなかなか
対面できるチャンスを作り出せていませんでし
た。毎日食べているあの消費材を作っている生
産者から直接、消費材の生産にかける思いを聞
かせてほしい。対して、その消費材を食べてい
る私たちがどんな気持ちで食べているのかを伝
えたい。そして、そんな関係性で作り出されて
いる価値ある消費材をもっとたくさんの人に食

エル・コープは1993年に、「地域を自分た
ちの手で豊かにする」ことを目的として京都に
誕生しました。
ただ食べたいものを食べられたら良い、では
なく、その食材がどんな生産者にどのような思
いで作られ、どんな経路で私たちの手に届くの
かまでを自分たちで確認でき、未来まで食べ続
けていける食材を利用したい、そんな思いに賛
同してくれる生産者とともに共同購入運動に取
り組んできました。
生活クラブ連合会に加入し、生産者とともに
これからも中身のわかる持続可能な材を作り、
今後も食べ続けていきたいと考えています。

いよいよやってきた、生活クラブ京都エル・
コープ、30th Anniversary Year!
この春から記念企画として「知ろう！消費材！
リレー生産者交流会」が始まります。
エル・コープ内12の支部と理事会が1年間を
通してさまざまな生産者を招き、みんなで消費
材と生産者について知ってわかって食べていこ
う！という欲ばりな企画です。

べてほしい!!! そんな気持ちを共有できる場を
今年度は各地域で作り出していきます。

さらに今年度の企画の特徴として、自分の住
んでいる地域だけではなくエル・コープ配送区
域の各地で開催される生産者交流会に、地域の
垣根を越えてどんどん参加していつてもらいた
いと計画しています。

トップバッターは洛中支部。生産者交流会の
詳細は随時ホームページにて更新されていきま
す。気になる生産者、いつも食べている消費材
の生産者に、どんな会いに来てください。参
加回数が多ければ多いほどスタンプを集められ
てお得な特典が付いてくる「ポイントカード」
の発行や、組合員でないお友達を誘って参加す
るとお友達もあなたにも美味しいプレゼントを
用意しています！

これからおこないなでもリレー生産者交流会
の情報や報告が掲載されます。どうぞ楽しみに
しててくださいね♡

会場にて皆さんとご一緒できるのを楽しみに
しております！



生活クラブ京都エル・コープ
30周年記念 リレー生産者交流会
キャラクター：えるん (30th ver.)

2月に開催されたアソシエ会議、皆さんは参加されましたか？

これから、生活協同組合生活クラブ京都エル・コープが進めていきたい地域政策について理事がお話して、参加の組合員からどんなことができたらいいと思うのか、自分ならどんなことがしたいのか、たくさんお話を聞かせてもらいました。

関心はあったけどアソシエ会議に参加できなかった方へ向けて、改めて今回理事会で承認した「地域政策実行プロジェクト答申」について説明したいと思います。

1. どうして、エル・コープで地域政策？

エル・コープはちょうど30年前に暮らしに必要な機能を自分たちで作り出すことで生活にまつわる課題を解決していこうと設立されました。もしかすると、ほとんどの組合員が「エル・コープは食材を配達する生活協同組合」とらえているかもしれませんが、それも大事な事業の一つなのですが、先ほど出てきた「暮らしに必要な機能を自分たちで作り出すことで生活にまつわる課題を解決していく」。ここが大事なところなんです。

これまでもダイオキシンや遺伝子組み換え食品、放射能汚染、マイクログラスチック：さまざま私たちの生活にまつわる問題について、学び、それについて私たちはどう向き合っていくのかを生活者の目線で考え取り組んできました。そして今「私が地域でどう暮らしていくのか」について、取り組んでいくと考えるようになりました。

2. これまでのエル・コープでの取り組み

2016年、理事会のもとに地域政策検討会議を立ち上げ、地域での課題解決に向けた取り組みの検討を始めました。まず、すでに地域で課題に取り組んで活動している方々を招いてどんな思いでどんな活動をされているのかをお話していただきました。共通して感じたことは、みなさんとても生き生きとしていたこと。課題はそれぞれ多種多様で、ともすると悲観的になりがちなものもある中、今自分や周りの人たちができることを様々な角度から検証して楽しく取り組んでいたのです。この姿勢は私たちの今後の取り組みの中でも大事な指針となると思います。

その翌年、全組合員対象の「ニーズ調査アンケート」を実施。実際に組合員が感じている日常生活の課題やエル・コープに求める役割などについてたくさんの方の意見をいただきました。そこで出てきたニーズをまとめると「居場所機能」「相談機能」「サポート機能」が求められていることが見えてきました。そこでまず、「相談機能」「サポート機能」として当時のエッココ共済の内容を見直すことにしました。

19年春に取り組んだ「ビジョンカフェ」では実際のエッココの活用状況や、どんな内容であればエッココ共済がより利用しやすいのか意見を集め、地域政策の策定内容の組み立てと同時に内容見直しを図りました。20年の総代会にて地域政策の策定とエッココ共済の改定の承認を得て、地域政策の具体化の検討を始めました。

エル・コープの地域政策って？

「子どもをまん中においた共生のまちづくり」って何だろう

— エル・コープが進めていく地域政策 —

次月(141号)では

- ・ 今課題とらえていること
- ・ エル・コープとして考えていきたいこと、できること
- ・ どうして子どもをまん中に、なの？

以上の内容で、エル・コープが進める地域政策についてもう少しお話ししていきます。

そして、これから4～5月にかけて「ビジョンカフェ」を開催します。

ビジョンカフェでは2月のアソシエ会議で出てきた意見や質問をふまえた具体的な地域政策実行案について、できるだけたくさんの方の組合員の皆さんに理事から直接説明をしたいと計画しています。これを6月の総代会にて承認を得て、実行していく流れです。

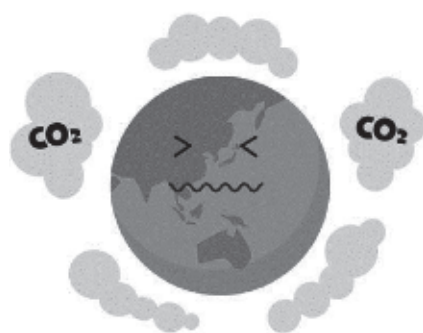
実行していく内容はワークスペースの結成を目的とした学習・相談会の開催や、新センター建設に伴いスペースができる西センターの活用のための改装計画、具体的な子育てや子育てに関わる人々を応援・ともに育てていく仕組み作りなどです。またこれから進捗状況などを組合員の皆さんにお知らせしていきます。

一緒に関わる人も募集します。どうぞ少しでも関心のある人、逆に反対のご意見をお持ちの人もぜひ来てください。たくさん話をしましょう。よりベターな方法をおおせいの皆さんと練って練って進めていきたいと思っています。よろしく願っています。

私たちの食が 地球の未来をつくる

皆さん、毎日の食事作りは、食材、調理、献立など考えることはたくさんありますね。栄養面も大切にされていると思いますが、このコーナーでは食育講師チームが日ごろ取り組んでいる『身近な毎日の食の向こう側で起きていること』『私たちの食べ物と地球環境のつながり』についてシリーズでお伝えしていきます。

今、地球温暖化が進んでいます。地球を覆う温室効果ガスは無いと地球の温度が低くなりすぎて生物が生きることができないので必要なのですが、増えすぎると地球の温度が高くなります。私たちが便利な暮らしのために電気やガソリンなどをたくさん使い、二酸化炭素を発生させています。人間の生活が地球温暖化を進め、



気候変動が起きています。近年は猛暑、集中豪雨、洪水や大雪、干ばつ、山火事、海面上昇が頻繁に起こっています。ここ100年で海面は20センチ近くも上昇しています。

また、日本の食料自給率は2000年度以降、40%前後で低迷しています。必要な食料の半分以上を外国に頼っています。しかし、今まで食糧輸出国であった中国のような人口の多い国が輸入国になったり、食料大国で戦争が起



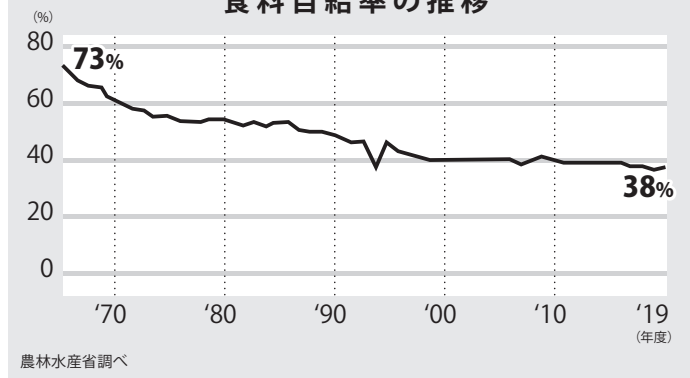
こつたりして、外国からの輸入も頼りにならなくなっています。日本が一番多く輸入している食料は何だか、ご存じですか？それは『トウモロコシ』です。『トウモロコシ』の自給率は0%です（ここで言う『トウモロコシ』とは、野菜として食べる『スイートコーン』などの『とうもろこし』のことではなく、乾燥して穀物として流通しているものことです）。日本で自給できているお米の生産量のほぼ2倍の量を輸入しています。家畜のえさや油の原料としてなくてはならないものですが、目に見えないところで使われているので気づきにくいですね。輸入時の輸送に使うエネルギーも外国頼みで高騰していますし、遠くからの輸入には大量のCO2排出を伴います。

気候危機に面しているうえに農業従事者が減り続け、外国からの輸入も不安定な日本ではそのうち『栄養はサプ

リで摂ればよい』ということになるのでしょうか？季節の野菜を楽しむこともできなくなるのでしょうか？遺伝子組み換えなどの技術が解決の道となるのでしょうか？食に付随して多用されているプラスチックの環境負荷も気になります。

こうした食の様々な問題点について、今後ひとつずつ、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。『パーチャルウォーター』『食品ロス』『フードマイレージ』『日本の農業』『海洋プラスチック』『遺伝子組み換え』の6つのテーマでお伝えしていきます。

食料自給率の推移





エッコロニュース

エッコロ委員会

どうしよう…



こんな時どうしていますか？ エッコロたすけあい制度

一昨年前に、黄色のじゃばら折の冊子を配布しました。ご覧になられましたか？

この冊子の中には組合員の「こんな時に使ったよ！」「近所の組合員さんに手伝ってもらったよ」のお話をもとに作りました。

家族で実家に帰省する間の犬の世話、植木の水やりどうしよう。

→組合員の友達に来てくれた。
(ケア／10分につき100円)



初めての子育て。夫は仕事で遅く、実家は遠くて近くに頼れる人がいない。

→エッコロに相談したら、近所の組合員さんが来てくださった。(子育て支援／1時間につき600円)



インターネットのルーターの交換で機械が送られてきた。でも交換の仕方がわからない。訪問での交換サービスがない。

→エッコロに相談したら近所の組合員さんが来て交換してくれた。
(ケア／10分につき100円)



体調を崩してしまった。家族の食事の準備ができない。

→組合員の友達が夕飯を作ってくれた。(家事支援／1時間につき600円)



「みんなのちょっと困ったときの対処法」としてエッコロたすけあい制度があります。

エッコロたすけあい制度で「ありがとう」の気持ちがケア

金として手伝ってくれた方に支払われます。この制度は、「なるべくご近所で」「おたがいさま」の関係を作っていく仕組みです。生活クラブの組合員の友達同士で、ご近所同士で「ちょっとした困りごと」を助け合えて、そして顔見知りが増えていって普段の暮らしの中で穏やかに自分たちの街の安心が培っていったらこんないいことないですよね。そんな「つながりづくり」のツールの一つとして「エッコロたすけあい制度」を活用してください。

また困ったときに助けてもらうだけが「エッコロたすけあい制度」ではありません。「私の得意なこと」が誰かの役に立ちます。

私たちが主役です。エッコロたすけあい制度は私たちでよりよく改定することができます。もっと主体的に積極的に参加しませんか？

「エッコロたすけあい制度」は組合員の参加があってこそ生きる仕組みです。組合員がこうりたいと思い描く地域社会をエッコロたすけあい制度で作って出しましょう。

●1月度の給付ケア件数

給付No.	項目	件数
8	共同購入品の盗難・破損保障	1
9	困ったとき・手伝ってほしいときのケア	7
10	産前産後・入院・通院・在宅療養のときのケア	6
12	子育て中・介護中の加入者がリフレッシュしたいとき、儀式や行事に参加するときのケア	4
14	共同購入品を預かってほしい・届けてほしいときのケア	27
16	誕生日のお祝い(満60歳以降10年ごとに)	2
17	出産のお祝い	1

エピソードを
お寄せください

QRコードからGoogleフォームで、またはお好きな用紙に記入し配送時に「エッコロ委員会宛て」で提出してください。字数等の制限は特にありません。お名前・支部を明記してください。お寄せいただいたエピソードはエッコロ委員会においてエッコロニュースまたは組合員活動で活用させていただきます。(寄稿者の実名は伏せて活用します)



2023春の 仲間づくり キャンペーン

開催期間：3/20(月)～6/2(金)

今回のサンプルは
鶏モモ肉・ムネ肉セット 250g

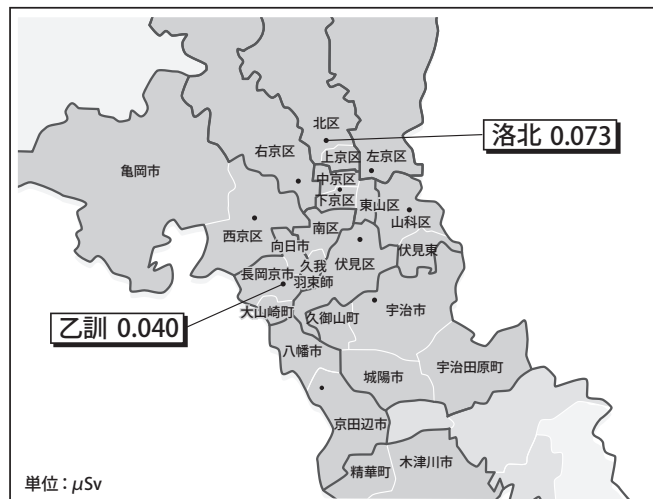
大切に
守り育てた
国産鶏種「丹精國鶏」



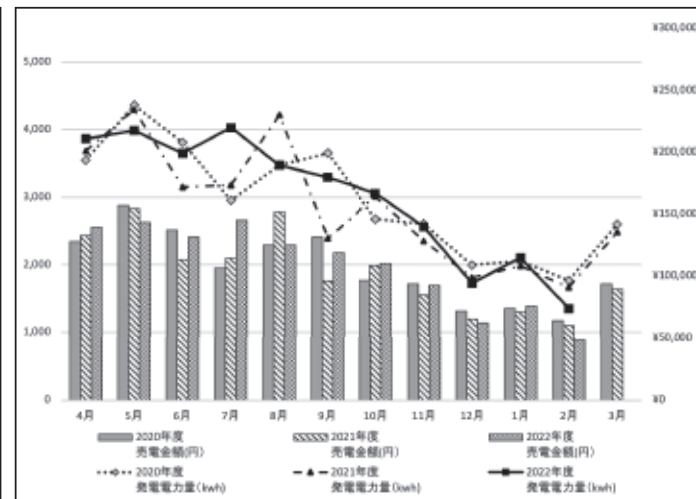
詳しくはキャンペーンチラシをご覧ください

個人情報部分につき
ホームページでの掲載は
控えさせていただきます。

●放射線測定活動報告 2023年2月測定



●東センター太陽光発電ありがとSUN発電状況



生活協同組合

How to
エル・コープ

知ってましたか？こんなことやあんなこと。

加入説明の時に聞いた気がするけど、どうするんだっかな？

生活クラブを上手に活用していくために、加入したばかりの方からベテラン組合員さんまでみなさんに知っておいていただきたいことを毎回お伝えしていきます。

今回は、「生活協同組合」についてお伝えします。

.....

生活クラブは「生活協同組合（生協）」です。生協は、非営利の事業体であり、組合員みんなが「出資・利用・運営」することによって成り立っています。



出資する

出資する(加入)ことによって組合員となり、資金を持ち寄って利用・運営しています。



利用する

生活クラブの消費材の共同購入や、共済へ加入することができます。



運営する

生活クラブに加入することでいろいろなイベントや組合員活動または消費材の開発などに参加することができます。

私たちの出資金でまかなわれた建物・設備・車両ならびにお届けに使用している青いコンテナケースや保冷剤、白いシッパー（発泡スチロールの保冷箱）、通い袋などの備品もすべて組合員である私たちの共同財産です。備品は大切に扱いましょう。

私たちはお客様でも単なる消費者でもありません。事業の利用者であると同時に出資者・経営参画者です。

生活に必要な「消費材」を生産者とともに作り、共に広げる運動が生活クラブでの共同購入です。私たちには「買う力」と「買わない力」があります。買わないことで反対の意思を表示するとともに、必要とする「消費材を買う力」を集めることで、一つ一つの課題を解決していくことができます。より多くの力が必要になりますので、たくさんの仲間を作っていくことも重要です。ぜひお友だちを誘って仲間を増やしていきましょう！

理事会だより

2022年度 第11回 理事会報告

(2023年3月6日開催)

＝討議検討事項＝

- 2022年度活動報告案の検討を始めました。

＝討議決定事項＝

- 2023年度第30回通常総会の議案を決定しました。

＝報告承認事項＝

- 2023年度第30回通常総会の開催方法について承認しました。
- 2023年度総代説明会を5/9に開催することを承認しました。
- 特定認定 NPO 法人 happiness への寄付を実施することを承認しました。
- 「ブランディングプロジェクト」を正式に発足することを承認しました。

＝報告確認事項＝

- 「知ろう！消費材！リレー生産者交流会」開催について確認しました。
- 支部運営ルールについての付則と準備支部の位置づけを確認しました。
- 新型コロナウイルス感染拡大状況を受けた組織運営のあり方を確認しました。

ほか

お詫び

第10回理事会報告の「アースデイ」出店の日程に誤りがありました。正しくは4/22・23でした。お詫び申し上げます。

各支部・委員会からのお知らせ

○左京支部

DVD「タネは誰のもの」を一緒に見ませんか。

4月24日(月) 10:00～12:00 一乗寺くらぶルームにて鑑賞会を行います。ご参加お待ちしております。詳しくはくらぶルームだより4月号をご覧ください。

○洛北支部

自生ナタネの調査をします。

内容：鴨川河川敷に自生しているナタネが、遺伝子組み換えナタネかそうでないかを、検査します。採取したナタネを検査キットで調べます。どんな風にするのか興味のある人の参加、お待ちしております。日時、場所については、後日「らくほくニュース」でお知らせします

おい、な 次号、141号は
2023年5月1日発行です



<http://kyoto.seikatsuclub.coop>